



学校だより

令和 8年 6月30日
羽曳野市立恵我之荘小学校
校長 角田 浩太郎

日曜参観へのご参加、ありがとうございました

朝、学校に来ますと1年生の育てているたくさんのアサガオが花を咲かせ、また、2年生の育てている野菜のきゅうりが大きくみのり、ミニトマトが赤く色づいており、気持ちを和ませてくれます。子どもたちは、これからの野菜の収穫や少し先になりますが種の採取を楽しみにしているのではないのでしょうか。



さて、6月14日(日)に行われました日曜参観には、多くの保護者のみなさまにご参加いただき、ありがとうございました。保護者のみなさまに見ていただくことができ、子どもたちの励みとなっております。また、参観後の引き渡し訓練にご協力いただき、誠にありがとうございました。みなさまのご協力によりたいへんスムーズに行うことができました。



家読のご協力ありがとうございました

6月5日(金)から6月21日(日)までの約2週間、家読週間にご協力いただきありがとうございました。

好んで読書をする習慣は、子どもたちの学力の大きな基盤となります。この活動を通してひとりでも多くの読書が好きな子どもが増えたらいいなと思っております。

そんな思いをもっていた私は、先日新聞の広告欄に乗っていた「読書スタディーズ 本好きはどうつくられるのか」(著 桜井政成 明石書店)というタイトルに眼を引かれ、購入してしまいました。

その本にはたくさんの心に残ることが書いてあったのですが、特に心に残ったことは『その人をとりまく環境も大事』『家庭や学校に読書をすすめる雰囲気があるかや、具体的なサポートがあるか』『仲間が「本を読むのはダサい(カッコ悪い)」と考えていると、そのなかで読書家という自信をもつことは難しい』と書いてあったことです。

言われれば当たり前のことと思いますが、強く意識したことはありませんでした。

そのことを強く意識した後、家読カードの「おうちの方からのひと言欄」に書いていただいていた内容を読ませていただきました。

そこには、子どもを支える内容や頑張りを認める内容がたくさん書かれていました。このようなおうちの方からのコメントが、子どもたちの好んで読書する習慣を育んでいくのだと改めて実感いたしました。

これからも、おうちの方々のご理解とご協力をいただきながら、学校全体で「本を読むことはカッコいい!」という雰囲気をみんなでつくっていかれると思います。

1 学期終業式に向けて

1 学期もあと13日となりました。子どもたちは終業式に向けて一生懸命に頑張っています。1 学期に学んだことをしっかりと振り返り、2 学期へと繋げていってほしいと思います。引き続き、みなさまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今後とも、子どもたちの健やかな成長のために、教職員一同全力で取り組んでまいります。

